

# 20~30年目線 長期株式レポート

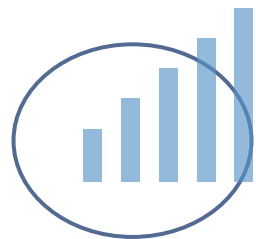
対象: 個別分析21銘柄の個別分析・将来性・悲観/楽観シナリオ



## 注目候補

長期的な成長ドライバー、収益性・競争優位性、事業構造の強さを基に、21銘柄を整理しました。

- Alphabet **GOOGL**・**GOOG**
- Microsoft **MSFT**
- Amazon **AMZN**
- TSMC **TSM**・**2330**
- ASML **ASML**
- Broadcom **AVGO**
- NVIDIA **NVDA**
- 日立製作所 **6501**
- 三菱重工業 **7011**
- Berkshire Hathaway **BRK.B**
- Visa **V**
- Mastercard **MA**
- Eli Lilly **LLY**
- GE Vernova **GEV**
- Sony Group **SONY**・**6758**
- Tokyo Electron **8035**
- Advantest **6857**
- MercadoLibre **MELI**
- Micron Technology **MU**
- SK hynix **000660**
- Samsung Electronics **005930**



# 1. エグゼクティブ・サマリー

20-30年では、短期PERよりも「再投資できる市場の大きさ」「競争優位の持続性」「資本配分」「規制・地政学に耐える分散」が重要です。AIの利用側・供給側・電力/インフラ側・非AI安定成長側へ分けて持つ設計を重視します。

## 最優先コア

**GOOGL / MSFT / AMZN / TSMC / ASML**

AIを使う側と供給側の中核。20-30年で事業の再投資余地が大きい。

注意点: 期待値は高い。買い値と集中度を管理。

## 攻めの成長株

**NVDA / AVGO / 日立 / 三菱重工 / GEV / LLY**

AI計算、電力、医療、産業インフラの構造変化に乗る。

注意点: テーマが強いほど反動も大きい。

## 分散・安定株

**BRK.B / V / MA / Sony**

AI一本足を避けるための質の高い別軸。

注意点: 成長率はAI銘柄より穏やか。

## 高ベータ衛星株

**TEL / Advantest / MELI / MU / SK hynix / Samsung**

半導体サイクル、地域成長、メモリ上昇局面を取る。

注意点: 景気・メモリ価格・政治リスクで大きく振れる。

## 総合スコア

S=主力候補 / A=かなり良い / B+=魅力はあるがサイクル・地域・価格リスクが大きい

銘柄	長期魅力度	主なテーマ	価格/景気リスク	位置づけ
Alphabet	S	検索/YouTube/Cloud/TPU	中	最優先コア
Microsoft	S	企業IT/Azure/Copilot	中	最優先コア
Amazon	S-	AWS/広告/物流/EC	中	最優先コア
TSMC	S-	先端製造/パッケージ	高	地政学管理
ASML	S-	EUV/High-NA/サービス	中-高	コア
Broadcom	A+	AI ASIC/ネットワーク	高	攻めの準コア
NVIDIA	A+	GPU/AIソフト	高	比率管理
日立	A+	電力/鉄道/DX	中	日本株コア
三菱重工	A	GTCC/防衛/原子力	高	構造変化株
BRK.B	A	保険/現金	低-中	安定株
Visa/Mastercard	A	決済/VAS	中	安定株
Eli Lilly	A	肥満症/糖尿病	中-高	非AI成長株
GE Vernova	A-	電力/GT/グリッド	高	電力テーマ
Sony	A-	ゲーム/音楽/映画/センサー	中	IP・娯楽分散
TEL/Advantest	A-	装置/テスト	高	サイクル株
MELI	B+	中南米EC/Fintech	高	衛星株
MU/SK hynix/Samsung	B+~A-	HBM/DRAM/NAND	非常に高	メモリ衛星株

## 2. 20-30年の主要テーマ

1

### AI利用側

GOOGL、MSFT、AMZNは、AIを自社サービスへ組み込み、既存顧客に追加価値として販売できる。AIが生活・仕事の標準機能になるほど、ユーザー接点と課金面を持つ企業が有利。

2

### AI供給側

NVDA、AVGO、TSMC、ASML、TEL、Advantest、MU、SK hynix、Samsungは、計算資源・製造・装置・メモリの供給側。利益は大きい、サイクルと期待値の反動が強い。

3

### 電力・産業インフラ側

日立、三菱重工、GEVは、AIデータセンター、電力網更新、防衛、ガスタービン、原子力、鉄道、産業DXに関わる。AIが伸びるほど電力とインフラが制約になる。

4

### 非AIの複利枠

BRK.B、Visa、Mastercard、Eli Lilly、Sony、MELIは、AIとは別の成長・安定テーマ。テック集中を薄め、PF全体の耐久性を上げる。

#### モデル配分の一例

分類	配分例	銘柄例
AI利用側コア	30-35%	GOOGL, MSFT, AMZN
AI供給側コア/準コア	25-30%	TSMC, ASML, NVDA, AVGO, TEL, Advantest
電力・産業インフラ	15-20%	日立, 三菱重工, GE Vernova
非AI安定/成長	15-20%	BRK.B, Visa, Mastercard, Eli Lilly, Sony
高ベータ衛星	5-10%	MELI, Micron, SK hynix, Samsung

#### 狙い

AIが本物なら十分に恩恵を取り、AI投資が一度崩れても全体が壊れない形にすることです。

同じAIでも「利用側」「チップ」「製造」「装置」「電力」を分けることで、テーマ集中の見かけ以上のリスクを抑えます。

#### 規制

独禁法・AI規制・データ規制

#### 金利

高PER銘柄のバリュエーション変動

#### 地政学

台湾・韓国・中国関連の供給網

#### サイクル

メモリ・装置・クラウドCapEx

## 3. 個別分析

各銘柄は、長期投資の役割、投資仮説、悲観/楽観シナリオ、見るべき指標、最終的な位置づけの順に整理しています。

1

### Alphabet

GOOGL・GOOG

長期魅力度 S

規制・検索変化・大型CapEx

<span style="color: #0070c0;">◆</span>	<b>事業の強み</b>	最優先コア。AI時代の検索、動画、クラウド、独自TPU、Waymoを合わせ持つ複合プラットフォーム。
<span style="color: #0070c0;">↗</span>	<b>将来性 / 投資仮説</b>	単なる広告会社ではなく、ユーザー接点、OS、動画、クラウド、AIチップ、ロボタクシーの複数オプションを持つ。生成AIで検索体験が変わるほど、既存の検索トラフィックと広告主基盤を持つ優位性が効きやすい。
<span style="color: #0070c0;">◎</span>	<b>公開材料</b>	2026年Q1はGoogle Services売上が16%増、Search & otherが19%増、Google Cloudは20.0Bドルで63%増、Cloud backlogも大きく拡大した。[S1]
<span style="color: #0070c0;">📄</span>	<b>注目指標</b>	検索売上成長率、Cloud営業利益率、CapEx対売比率、TPU外販の収益化、反トラスト訴訟。

楽観シナリオ

AI Mode / AI Overviewsが検索利用を増やし、YouTube・Android・Gemini・Google Cloud・TPU外販が重なる。Waymoが都市インフラ化すれば、現在の広告中心企業からAIインフラ企業へ再評価される。

悲観シナリオ

AI回答が広告クリックを減らす、検索独占への規制・分割リスク、AIインフラ投資の回収遅れ、Cloudの価格競争、Waymoの事故・規制で期待が剥落する。

私の位置づけ

20-30年の主力候補。MSFTと並べるより、個人的にはGOOGLをやや厚めにしたい。

2

### Microsoft

MSFT

長期魅力度 S

AI投資回収・Azure供給制約・OpenAI依存

<span style="color: #0070c0;">◆</span>	<b>事業の強み</b>	企業ITの土台。Office、Windows、Azure、GitHub、Security、Copilotを束ねる長期コア。
<span style="color: #0070c0;">↗</span>	<b>将来性 / 投資仮説</b>	企業の業務フローに深く入り込んでおり、AIが「アプリ」ではなく「仕事の標準機能」になる場合に最も恩恵を受ける。既存契約へAIを上乗せできる価格決定力も強い。
<span style="color: #0070c0;">◎</span>	<b>公開材料</b>	FY2026 Q3はMicrosoft Cloud売上54.5Bドルで29%増、商用RPOIは627Bドルへ拡大した。[S2]
<span style="color: #0070c0;">📄</span>	<b>注目指標</b>	Azure成長率、AIサービスの粗利、CopilotのARPU、RPO、データセンターCapEx。

楽観シナリオ

CopilotがOfficeの標準課金になる。Azure AI、GitHub、Security、Dynamicsが連動し、企業向けAI支出の中心を取る。高い営業利益率を維持したまま売上が積み上がる。

悲観シナリオ

Copilotの実利用が期待ほど伸びず、AIサーバー投資が利益率を圧迫する。AzureがAWS/Googleや自社ASIC競争で差別化しにくくなり、OpenAIとの経済関係が不利に変化する。

私の位置づけ

GOOGLと並ぶ超長期コア。派手さよりも「失敗しにくさ」が魅力。

## 3. 個別分析

各銘柄は、長期投資の役割、投資仮説、悲観/楽観シナリオ、見るべき指標、最終的な位置づけの順に整理しています。

3

### Amazon

AMZN

長期魅力度 S-

CapEx・小売規制・労務費

<b>事業の強み</b>	AWS、広告、マーケットプレイス、物流、Primeを持つ複合インフラ企業。
<b>将来性 / 投資仮説</b>	AWSはAI計算需要の直接受益者。さらに広告とマーケットプレイス手数料、物流密度改善、ロボティクスが利益率を押し上げる。EC会社というより「商取引と計算資源のインフラ」と見るべき。
<b>公開材料</b>	2026年Q1はAWS売上37.6Bドルで28%増、AWS営業利益14.2Bドル、全社純利益30.3Bドルだった。[S3]
<b>注目指標</b>	AWS成長率と営業利益率、広告売上、北米/国際小売の営業利益率、FCF。

楽観シナリオ

AWSがAI推論需要で再加速し、広告・Prime・物流が高利益化する。倉庫自動化と配送網の密度上昇で、ECの利益率が長期的に再評価される。

悲観シナリオ

AWSの成長が鈍化し、AI投資が減価償却負担になる。小売の価格競争・労務費・規制で利益率が伸びない。広告規制やマーケットプレイス規制で高利益源が削られる。

私の位置づけ

GOOGL/MSFTより少し景気敏感だが、20-30年では外しにくいコア。

4

### TSMC

TSM・2330

長期魅力度 S-

台湾地政学・顧客集中・設備投資負担

<b>事業の強み</b>	先端ロジック半導体の製造インフラ。AI時代の「工場側」の本丸。
<b>将来性 / 投資仮説</b>	NVIDIA、Apple、AMD、Broadcom、各種ASIC企業が伸びるほど、最先端製造能力の希少性が高まる。微細化、先端パッケージ、CoWoS等のボトルネックを押さえる点が高い。
<b>公開材料</b>	2026年Q1は売上35.9Bドル、粗利率66.2%。Q2ガイダンスは売上39.0-40.2Bドル、粗利率65.5-67.5%。[S6]
<b>注目指標</b>	先端ノード構成比、粗利率、海外工場コスト、CoWoS能力、主要顧客依存度。

楽観シナリオ

AIチップ、スマホSoC、車載、HPCがすべて先端ノードへ寄り、製造能力不足が長く続く。価格決定力と先端パッケージ収益で利益率が高止まりする。

悲観シナリオ

台湾有事・封鎖・制裁が最大リスク。海外工場のコスト上昇、顧客の内製化、Samsung/Intelの追い上げ、過剰投資による粗利率低下もあり得る。

私の位置づけ

事業品質は最上位。ただし地政学リスクが大きいため、ASML/NVDA/AVGOと分散して持ちたい。

## 3. 個別分析

各銘柄は、長期投資の役割、投資仮説、悲観/楽観シナリオ、見るべき指標、最終的な位置づけの順に整理しています。

5

### ASML

ASML

長期魅力度 S-

輸出規制・装置サイクル・High-NA進捗

	<b>事業の強み</b>	EUV露光装置のほぼ代替不能な供給者。半導体サプライチェーンの要所。
	<b>将来性 / 投資仮説</b>	最先端半導体を作るための装置を売る会社であり、特定チップ企業の勝敗より広い。装置販売だけでなく、既存装置のサービス・アップグレードも長期収益源になる。
	<b>公開材料</b>	2026年Q1は売上8.8Bユーロ、粗利率53.0%、純利益2.8Bユーロ。2026年売上見通しは36-40Bユーロへ引き上げられた。[S7]
	<b>注目標</b>	受注残、EUV/High-NA受注、China売上比率、粗利率、顧客CapEx。

楽観シナリオ

AI向け先端ロジックとHBM/DRAMの微細化でEUV/High-NA需要が継続。装置台数が限られるほど価格とサービス収益が強くなる。

悲観シナリオ

中国向け輸出規制が強まり、DUV/EUV需要にブレーキがかかる。顧客の設備投資サイクルが急減し、高額なHigh-NA EUVの導入が遅れる。

私の位置づけ

半導体銘柄の中では最も「長く持ちやすい」部類。急落時に優先して拾いたい。

6

### Broadcom

AVGO

長期魅力度 A+

顧客集中・高期待・大型買収統合

	<b>事業の強み</b>	カスタムAI ASIC、ネットワーク、VMwareを持つAI供給側の準コア。
	<b>将来性 / 投資仮説</b>	AIがNVIDIA GPUだけでなく、Google、Meta、Apple、OpenAI等の専用ASICへ広がるなら、Broadcomの設計・ネットワーク・接続技術が効く。VMwareによりソフト収益も厚い。
	<b>公開材料</b>	2026年Q2は売上22.187Bドルで48%増。AI半導体売上は10.8Bドルで143%増と発表された。[S5]
	<b>注目標</b>	AI半導体売上、主要顧客数、ネットワーク売上、VMware更新率、FCFマージン。

楽観シナリオ

各社の自社AIチップ化が進み、AVGOがGPU一極集中の代替先として再評価される。ネットワークとソフトの高利益率でFCFが急拡大する。

悲観シナリオ

AI ASIC案件は少数大口顧客に偏りやすく、1社の投資計画変更で業績が大きく振れる。VMwareの値上げ・統合が顧客離れを招く可能性もある。

私の位置づけ

NVIDIAの補完としてかなり重要。高値掴みだけは避けたい。

## 3. 個別分析

各銘柄は、長期投資の役割、投資仮説、悲観/楽観シナリオ、見るべき指標、最終的な位置づけの順に整理しています。

7

### NVIDIA

NVDA

長期魅力度 A+

期待値過大・競争・輸出規制

<b>事業の強み</b>	AI計算インフラの主演。GPU、ネットワーク、ソフトウェア・エコシステム。
<b>将来性 / 投資仮説</b>	単なるGPUメーカーではなく、CUDA、NVLink、InfiniBand/Spectrum-X、推論、ロボティクスまで含むAIインフラ企業。20年後も計算需要が指数関数的に伸びるなら主演候補。
<b>公開材料</b>	FY2027 Q1は売上81.6Bドル、Data Center売上75.2Bドルで92%増。追加80Bドルの自社株買いも発表した。[S4]
<b>注目指標</b>	Data Center成長率、粗利率、推論比率、主要クラウドのCapEx、ASIC競争、輸出規制。

楽観シナリオ

学習だけでなく推論、エージェント、動画生成、ロボット、産業AIが拡大し、プラットフォームとしてのロックインがさらに強まる。

悲観シナリオ

ハイパースケーラーが自社ASICへ移行し、GPU価格・粗利率が下がる。AI投資のROI疑念、輸出規制、在庫調整が重なれば、優良企業でも株価は大きく下がる。

私の位置づけ

事業はトップ級。ただし既に主演として織り込まれているため、比率管理が最重要。

8

### 日立製作所

6501

長期魅力度 A+

プロジェクト執行・買収統合・景気

<b>事業の強み</b>	日本株の長期コア候補。電力グリッド、鉄道、デジタル、Lumada。
<b>将来性 / 投資仮説</b>	旧来の総合電機から、データ・インフラ・エネルギーの会社へ変わっている。電力網更新、鉄道、産業DXは20年単位で需要が続きやすい。
<b>公開材料</b>	FY2025は売上10.5867T円で8%増、調整後営業利益1.1992T円。Lumada拡大、エネルギー送配電機器、鉄道制御が寄与した。[S8]
<b>注目指標</b>	Lumada売上比率、調整後EBITA率、エネルギー受注、鉄道受注、ROIC。

楽観シナリオ

Hitachi EnergyとLumadaが伸び、電力・鉄道・産業AIの複合企業として欧米インフラ需要を取り込む。資本効率改善が続けば日本株の代表的な複利銘柄になる。

悲観シナリオ

大型案件で採算悪化、海外買収の統合失敗、為替逆風、産業景気の悪化で利益率が低下する。日本株全体の再評価が止まるとバリュエーションも剥落する。

私の位置づけ

日本株で20-30年を見るなら最優先クラス。半導体一辺倒ではない点が良い。

## 3. 個別分析

各銘柄は、長期投資の役割、投資仮説、悲観/楽観シナリオ、見るべき指標、最終的な位置づけの順に整理しています。

9

### 三菱重工業

7011

長期魅力度 A

高期待・能力制約・政策依存

	<b>事業の強み</b>	GTCC、原子力、防衛、宇宙、データセンター電力需要の複合テーマ。
	<b>将来性 / 投資仮説</b>	AIデータセンターの電力需要、ガスタービン、原子力、防衛費増、宇宙開発が同時に来ている。日本企業では珍しく、グローバルな供給制約の恩恵を受けやすい。
	<b>公開材料</b>	FY2025は受注高7.6536T円で20%増、受注残13.2376T円、事業利益432.2B円で22%増。受注・利益・FCFが過去最高だった。[S9]
	<b>注目指標</b>	受注残の採算、GTCC納入、原子力再稼働/新設、防衛予算、FCF。

**楽観シナリオ**

GTCCと原子力が電力不足の現実解として再評価され、防衛・宇宙の長期予算が積み上がる。生産能力増強が成功すれば利益率がもう一段上がる。

**悲観シナリオ**

受注残が大きいほど納期・人員・部材・コストの実行リスクが高まる。防衛予算は政治依存で、事故や品質問題が出ると信頼低下が大きい。

**私の位置づけ**

非常に面白いが、既に期待も大きい。日立よりも値動きは荒い前提。

10

### Berkshire Hathaway

BRK.B

長期魅力度 A

後継者評価・大型化・低成長

	<b>事業の強み</b>	非AIの安定枠。保険、鉄道、エネルギー、事業会社、巨額流動性。
	<b>将来性 / 投資仮説</b>	AIバブル的なリスクを中和する「現金と保険の要塞」。暴落時に資本を投じられる選択権を持つ。長期リターンは爆発的ではないが、PF全体の耐久性を高める。
	<b>公開材料</b>	2026年3月末時点でInsurance and Otherの現金等51.5Bドル、短期米国債339.3Bドル。Q1の保険引受利益は1.7Bドルだった。[S10]
	<b>注目指標</b>	現金+短期米国債、保険コンパインドレシオ、BNSF/BHE利益、買収・自社株買い。

**楽観シナリオ**

市場混乱時に現金を高利回りで投入し、保険フロートと事業会社の利益が安定的に複利化する。Greg Abel体制でも文化が維持される。

**悲観シナリオ**

巨大化しすぎて市場平均を大きく上回りにくい。パフェット後の資本配分信頼が低下し、保険損害や公益事業の規制・災害リスクもある。

**私の位置づけ**

AI銘柄の反対側に置く守備的コア。リターン最大化より耐久性目的。

## 3. 個別分析

各銘柄は、長期投資の役割、投資仮説、悲観/楽観シナリオ、見るべき指標、最終的な位置づけの順に整理しています。

11

### Visa

V

長期魅力度 A

規制・手数料圧力・代替決済

<b>◆</b>	<b>事業の強み</b>	世界決済ネットワーク。キャッシュレス化と越境決済の長期受益者。
<b>↗</b>	<b>将来性 / 投資 仮説</b>	決済の「通行料」ビジネス。現金からカード、カードからデジタル、旅行・越境回復、トークン化、付加価値サービスが長期ドライバー。
<b>◎</b>	<b>公開材料</b>	FY2026 Q2は純収益11.2Bドルで17%増、決済額9%増、欧州域内を除くクロスボーダー量11%増、処理取引66.1B件で9%増。[S11]
<b>📊</b>	<b>注目指標</b>	決済額、クロスボーダー量、処理取引、Client incentives、VAS売上。

**楽観シナリオ**

新興国のキャッシュレス化、越境決済、Visa Direct、リスク管理・認証サービスが伸び、物理カードを超えた決済OSになる。

**悲観シナリオ**

インターチェンジ規制、加盟店訴訟、ステーブルコインや口座間決済、巨大プラットフォームによる手数料交渉で成長率・利益率が下がる。

**私の位置づけ**

30年持ちやすい安定株。MSFT/GOOGLほどではないが、PFの質を上げる。

12

### Mastercard

MA

長期魅力度 A

Visaと同じ規制・代替決済

<b>◆</b>	<b>事業の強み</b>	Visaと並ぶグローバル決済ネットワーク。VASとデータ/認証が強み。
<b>↗</b>	<b>将来性 / 投資 仮説</b>	Visaより規模は小さいが、付加価値サービス、認証、データ分析、B2B決済の伸びしろがある。デジタルコマースが増えるほど不正対策と信頼ネットワークの価値が上がる。
<b>◎</b>	<b>公開材料</b>	2026年Q1は純収益8.4Bドルで16%増、購入額9%増、調整EPS4.60ドル。CEOはAgent Payやステーブルコイン関連にも言及した。[S12]
<b>📊</b>	<b>注目指標</b>	GDV、クロスボーダー、VAS成長率、営業利益率、規制動向。

**楽観シナリオ**

カード決済だけでなく、AIエージェント決済、B2B、サイバー/認証、データサービスが成長し、収益源がさらに高利益化する。

**悲観シナリオ**

決済手数料規制、リアルタイム決済・ステーブルコインの普及、景気後退による消費・旅行減速で成長が鈍る。

**私の位置づけ**

Visaとセットで薄く持つと強い。片方だけならVisa、成長性を少し取るならMA。

## 3. 個別分析

各銘柄は、長期投資の役割、投資仮説、悲観/楽観シナリオ、見るべき指標、最終的な位置づけの順に整理しています。

13

### Eli Lilly

LLY

長期魅力度 A

薬価・競争・特許・安全性

	<b>事業の強み</b>	非テック成長株。肥満症、糖尿病、代謝疾患の巨大市場。
	<b>将来性 / 投資仮説</b>	GLP-1/GIP系薬剤は単なるダイエット薬ではなく、糖尿病、肥満、心血管、睡眠時無呼吸、腎臓など周辺疾患へ広がる可能性がある。AI以外の巨大成長テーマ。
	<b>公開材料</b>	2026年Q1売上は19.8Bドルで56%増。Mounjaro売上は8.7Bドル、Zepboundは4.1Bドルへ拡大した。[S13]
	<b>注目指標</b>	Mounjaro/Zepbound処方数、実現価格、製造能力、後続パイプライン、競合データ。

楽観シナリオ

経口薬、次世代配合、適応拡大、グローバル供給増で市場が想定以上に拡大する。肥満症治療が慢性疾患インフラになれば長期売上はさらに伸びる。

悲観シナリオ

薬価引き下げ、保険償還制限、供給制約、競合薬、長期安全性問題、特許切れが重なると高PERが維持できない。

私の位置づけ

AI集中を和らげる非常に良い非テック成長株。ただし薬価・競争のニュースで大きく振れる。

14

### GE Vernova

GEV

長期魅力度 A-

高期待・プロジェクト採算・供給制約

	<b>事業の強み</b>	電力設備テーマ。ガスタービン、グリッド、サービス、再エネ。
	<b>将来性 / 投資仮説</b>	AIデータセンターの本当のボトルネックは電力。GEVはガス発電、送配電、サービスでその中核にいる。電力網更新は20年単位のテーマになり得る。
	<b>公開材料</b>	2026年Q1は受注18.3Bドルで71%有機増、売上9.3Bドル、バックログは163Bドルへ拡大した。[S14]
	<b>注目指標</b>	受注残、Gas Power backlog、Electrification利益率、Windの赤字、サービス比率。

楽観シナリオ

電力不足と系統投資が構造的に続き、ガスタービン・グリッド機器・サービス契約が高収益化する。受注残の質が高ければ長期の利益見通しが上がる。

悲観シナリオ

風力事業の採算問題、ガスタービンの納期・部材制約、急騰後のバリュエーション、電力需要見通しの下振れがリスク。

私の位置づけ

テーマはかなり強い。買い値が難しいので、分割・押し目向き。

## 3. 個別分析

各銘柄は、長期投資の役割、投資仮説、悲観/楽観シナリオ、見るべき指標、最終的な位置づけの順に整理しています。

15

### Sony Group

SONY・6758

長期魅力度 A-

ハード周期・ヒット依存・センサー顧客集中

	<b>事業の強み</b>	ゲーム、音楽、映画、アニメ、イメージセンサーを持つIP・娯楽分散枠。
	<b>将来性 / 投資仮説</b>	ゲーム機だけの会社ではなく、音楽出版、アニメ、映画、ゲームIP、イメージセンサーの複合体。コンテンツの長寿命化とサブスク/配信に強い。
	<b>公開材料</b>	FY2026会社予想は営業利益1.6T円で11%増。G&NSはFY2025に営業利益が12%増、Musicは売上15%増・営業利益25%増だった。[S15]
	<b>注目指標</b>	G&NS営業利益、MAU、Music streaming、I&SS利益率、IP投資の回収。

**楽観シナリオ**

ゲームIP、アニメ、音楽、映画を横断したフランチャイズ化が進み、センサーも高付加価値化する。金融分離後に事業会社としての評価が上がる。

**悲観シナリオ**

PlayStationハード周期、Bungieのような買収失敗、映画・ゲームのヒット不在、スマホ向けイメージセンサーの減速、円高が重なる。

**私の位置づけ**

AI銘柄ではないが、30年持てる娯楽・IP枠。派手さより分散効果が魅力。

16

### Tokyo Electron

8035

長期魅力度 A-

設備投資サイクル・中国規制・顧客集中

	<b>事業の強み</b>	日本の半導体製造装置本命。成膜、エッチング、洗浄など。
	<b>将来性 / 投資仮説</b>	半導体の微細化、3D化、Gate-All-Around、先端メモリ化が進むほど工程数が増え、製造装置の重要性が上がる。日本のAI供給側として有力。
	<b>公開材料</b>	FY2026はAIサーバー需要が半導体市場を押し上げ、生成AI向け半導体投資が大きく増えたと会社は説明。売上は2.4435T円だった。[S16]
	<b>注目指標</b>	受注、WFE見通し、China比率、営業利益率、先端ロジック/メモリ投資。

**楽観シナリオ**

AI半導体、HBM、先端ロジック、パワー半導体が同時に投資局面となり、装置需要が長期上振れする。技術的な工程増加で装置価値が上がる。

**悲観シナリオ**

メモリ・ロジック投資が止まると受注が急減する。中国向け規制、顧客の投資延期、在庫調整で業績と株価が大きく下がりやすい。

**私の位置づけ**

長期テーマは強いがサイクル株。高値追いより半導体調整時に捨る銘柄。

## 3. 個別分析

各銘柄は、長期投資の役割、投資仮説、悲観/楽観シナリオ、見るべき指標、最終的な位置づけの順に整理しています。

17

## Advantest

6857

長期魅力度 A-

HBM/AI投資サイクル・顧客集中・高期待

◆

**事業の強み**

AI/HPC半導体のテスト装置。複雑化するチップの品質ゲートキーパー。

↗

**将来性 / 投資仮説**

AIチップは高価で複雑なため、テスト工程の価値が上がる。HBM、GPU、ASIC、先端パッケージが増えるほどテスター需要が増える可能性が高い。

◎

**公開材料**

FY2025は売上1.1286T円で44.7%増、営業利益499.1B円で118.8%増。AI関連高性能半導体とHPC向け需要が伸びた。[S17]

📄

**注目指標**

SoCテスター需要、Memory Test Systems売上、受注残、顧客別売上、営業利益率。

楽観シナリオ

AIチップの複雑化でテスト時間・テスト項目が増え、装置需要が構造的に上がる。高性能DRAMや不揮発性メモリ向けも伸びる。

悲観シナリオ

顧客のAI/HBM投資が一巡すると受注が落ちる。テスト強度の上昇が価格競争で相殺される、あるいは顧客が投資延期すると業績が急低下する。

私の位置づけ

TELよりさらに高ベータ。主力ではなく、半導体装置の攻め枠。

18

## MercadoLibre

MELI

長期魅力度 B+

政治・為替・信用リスク・競争

◆

**事業の強み**

ラテンアメリカのEC・Fintech複合プラットフォーム。衛星枠。

↗

**将来性 / 投資仮説**

ラテンアメリカではEC、物流、決済、信用供与がまだ伸びる余地が大きい。MELIはマーケットプレイス、Mercado Pago、物流を一体化し、地域インフラになりつつある。

◎

**公開材料**

2026年Q1は純収益+金融収益8.8Bドルで49%増、営業利益611Mドル、営業利益率6.9%。投資強化で利益率は低下した。[S18]

📄

**注目指標**

GMV、TPV、信用損失率、配送コスト、ブラジル/メキシコ成長率、営業利益率。

楽観シナリオ

EC浸透率とFintech利用が同時に伸び、物流密度と決済データにより信用・広告・店舗向けサービスが拡大する。地域のAmazon+PayPal+銀行のような存在になる。

悲観シナリオ

ブラジル・メキシコ・アルゼンチンの政治/為替、信用損失、補助金競争、Amazon/Shopee/Nubank等との競争で利益率が下がる。

私の位置づけ

成長余地は大きいですが、米大型テックほど安定しない。衛星枠で持つなら面白い。

## 3. 個別分析

各銘柄は、長期投資の役割、投資仮説、悲観/楽観シナリオ、見るべき指標、最終的な位置づけの順に整理しています。

19

## Micron Technology

MU

長期魅力度 B+~A-

メモリスサイクル・供給過剰・価格急落

	<b>事業の強み</b>	米国メモリ大手。DRAM、NAND、HBM、データセンターSSD。
	<b>将来性 / 投資仮説</b>	AIサーバーはHBM、DDR、SSDを大量に必要とし、メモリの重要性は過去より上がっている。米国拠点・政策支援もあり、戦略的価値は高い。
	<b>公開材料</b>	FY2026 Q3ではデータセンター売上が25Bドル超、年率100Bドル超のペース。データセンターSSD売上は5Bドルを超え、DRAM/NAND需要が供給を大きく上回ると説明した。[S19]
	<b>注目指標</b>	DRAM/NAND価格、HBMシェア、CapEx、在庫日数、顧客長期契約、粗利率。

**楽観シナリオ**

HBMとデータセンターSSDが構造的な供給不足になり、従来より高い利益率が維持される。長期契約や戦略的顧客契約でサイクルが緩和される。

**悲観シナリオ**

メモリは本質的にサイクルが厳しい。高価格を見て各社が増産し、数年後に供給過剰、価格下落、利益急減が起こる。現在の低PERが罠になる可能性がある。

**私の位置づけ**

長期テーマは強いが、買うタイミングが非常に重要。主力よりサテライト。

20

## SK hynix

000660

長期魅力度 B+~A-

HBM集中・NVIDIA依存・メモリスサイクル

	<b>事業の強み</b>	HBMリーダー。AIメモリの最重要企業の一角。
	<b>将来性 / 投資仮説</b>	HBMではNVIDIA向けなどで強い地位を築き、AIサーバーのボトルネックを握る。DRAMの中でも高付加価値品へ寄せられている点が魅力。
	<b>公開材料</b>	2026年Q1は売上52.5763Tウォン、営業利益37.6103Tウォン、純利益40.3459Tウォンを発表した。[S20]
	<b>注目指標</b>	HBM世代別シェア、NVIDIA/ASIC顧客、DRAM ASP、CapEx、在庫、NASDAQ上場関連。

**楽観シナリオ**

HBM4以降でも技術優位を維持し、AIサーバーの標準部品として長期契約が拡大する。メモリ産業の利益構造が従来より良くなる。

**悲観シナリオ**

HBMは高成長だが、主要顧客と設備投資サイクルに左右される。Samsung/Micronの追い上げ、価格下落、急速な増産で利益率が崩れる。韓国市場・為替・地政学もリスク。

**私の位置づけ**

メモリの中では最も魅力的だが、サイクル天井での買いすぎは避けたい。

## 3. 個別分析

各銘柄は、長期投資の役割、投資仮説、悲観/楽観シナリオ、見るべき指標、最終的な位置づけの順に整理しています。

21

### Samsung Electronics

005930

長期魅力度 B+~A-

HBM遅れ・ファウンドリ赤字・複合企業ディスカウント

	<b>事業の強み</b>	メモリ、スマホ、ファウンドリ、ディスプレイを持つ巨大複合半導体企業。
	<b>将来性 / 投資仮説</b>	DRAM/NANDの規模、スマホ、ディスプレイ、ファウンドリを持つ総合力は大きい。メモリアップサイクルの恩恵は非常に強い。
	<b>公開材料</b>	2026年Q2ガイダンスは連結売上約171Tウォン、営業利益約89.4Tウォン。詳細決算は後日発表予定の速報値。[S21]
	<b>注目指標</b>	HBM認証/出荷、メモリ価格、Foundry損益、スマホ利益率、株主還元。

楽観シナリオ

HBM認証と供給拡大が進み、メモリ利益が高水準で続く。ファウンドリがGAA/先端パッケージで巻き返し、スマホ・半導体の垂直統合が再評価される。

悲観シナリオ

HBMでSK hynixに遅れる、ファウンドリの赤字が続く、スマホがApple/中国勢に押される、複合企業ゆえに資本効率が上がりにくい。メモリ価格下落時の利益変動が大きい。

私の位置づけ

メモリ上昇局面には強い。ただし20-30年の主力というより、低迷時に拾う大型サテライト。

### メモリ株の扱い

Micron、SK hynix、SamsungはAIメモリという強い長期テーマを持ちますが、DRAM/NAND/HBM価格の循環性が非常に大きい銘柄です。主力コアというより、次の下落局面・在庫調整局面で拾うサテライト候補として見る方がリスク管理しやすいと考えます。

## 4. 最終的な見立て

分析した21銘柄を、長期投資の観点（事業の強み・将来性・楽観/悲観シナリオ・リスク）で総合評価しました。

### 最重要の長期保有候補（コア・ポートフォリオの中核）

#### 1 Alphabet

GOOGL

検索・YouTube・Cloud・TPU・Waymoを併せ持つ最優先コア。

#### 2 Microsoft

MSFT

企業ITとAI課金の粘着性が強い、最も安定したAIコア。

#### 3 Amazon

AMZN

AWS・広告・物流の複合成長。利益率改善余地も大きい。

### 注目したい分散先（サテライト候補）

NVIDIA	AI半導体のリーダー。強いが比率管理。
ASML	半導体装置の代替困難な地位。
TSMC	先端ファウンドリの中核。地政学に注意。
日立	日本株の長期コア。電力・鉄道・DX。
三菱重工	防衛・宇宙・電力の構造変化。
Visa / Mastercard	決済ネットワークの安定複利。
Berkshire Hathaway	AIと逆相関になりやすい耐久株。
Eli Lilly	非テック成長。肥満症・糖尿病テーマ。

### 注意点（リスクと留意事項）

規制・政策リスク	米国・欧州・中国の独占禁止法、プライバシー規制、データ/AI規制。
景気・金利・地政学リスク	金利高止まり、台湾・韓国・中国関連の供給網不安。
技術革新・競争リスク	AI・半導体・クラウドでの新規参入や自社ASIC化。
バリュエーション変動	成長期待の織り込みが高い銘柄は、業績鈍化で大きく下落しやすい。
個別企業固有リスク	サプライチェーン、為替、コスト増、経営戦略の失敗。



現実的には、GOOGL・MSFT・AMZNをAI利用側のコア、TSMC・ASML・AVGO・NVDAを供給側のコア/準コア、日立・三菱重工・GEVを電力/産業インフラ、BRK.B・Visa・Mastercard・Eli Lilly・Sonyを非AI分散として組むのが一番バランスが良いです。MELIとメモリ株は夢は大きいですが、全体のリスクを決めるほど大きくしない方が長期では生き残りやすいと見ます。

## 5. 参考資料

各銘柄の「現在確認できる材料」は、主に会社発表・SEC提出資料・投資家向け資料を参照しました。アクセス日: 2026-07-07。

**[S1] Alphabet Q1 2026 Results, SEC Exhibit 99.1**

<https://www.sec.gov/Archives/edgar/data/1652044/000165204426000043/googlexhibit991q12026.htm>

**[S2] Microsoft FY2026 Q3 Earnings Release**

<https://www.microsoft.com/en-us/investor/earnings/fy-2026-q3/press-release-webcast>

**[S3] Amazon.com Announces First Quarter 2026 Results**

<https://ir.aboutamazon.com/news-release/news-release-details/2026/Amazon-com-Announces-First-Quarter-Results/default.aspx>

**[S4] NVIDIA Q1 Fiscal 2027 Financial Results**

<https://nvidianews.nvidia.com/news/nvidia-announces-financial-results-for-first-quarter-fiscal-2027>

**[S5] Broadcom Q2 FY2026 Financial Results**

<https://www.broadcom.com/company/news/financial-releases/64371>

**[S6] TSMC 2026 Q1 Quarterly Results**

<https://investor.tsmc.com/english/quarterly-results/2026/q1>

**[S7] ASML Q1 2026 Financial Results**

<https://www.asml.com/news/press-releases/2026/q1-2026-financial-results>

**[S8] Hitachi FY2025 Consolidated Financial Results**

<https://finance-frontend-pc-dist.west.edge.storage-yahoo.jp/disclosure/20260427/20260427511921.pdf>

**[S9] Mitsubishi Heavy Industries FY2025 Financial Results**

<https://www.mhi.com/finance/library/result/pdf/fy20254q/presentation.pdf>

**[S10] Berkshire Hathaway Q1 2026 Form 10-Q**

<https://www.berkshirehathaway.com/qtrly/1stqtr26.pdf>

**[S11] Visa Fiscal Q2 2026 Results**

[https://s1.q4cdn.com/050606653/files/doc\\_financials/2026/q2/Q2-2026-Earnings-Release\\_vF.pdf](https://s1.q4cdn.com/050606653/files/doc_financials/2026/q2/Q2-2026-Earnings-Release_vF.pdf)

**[S12] Mastercard Q1 2026 Earnings Release**

[https://s25.q4cdn.com/479285134/files/doc\\_financials/2026/q1/1Q26-Mastercard-Earnings-Release.pdf](https://s25.q4cdn.com/479285134/files/doc_financials/2026/q1/1Q26-Mastercard-Earnings-Release.pdf)

**[S13] Eli Lilly Q1 2026 Results**

<https://investor.lilly.com/news-releases/news-release-details/lilly-reports-first-quarter-2026-financial-results-raises-full>

**[S14] GE Vernova Q1 2026 Financial Results**

<https://www.governova.com/news/articles/ge-vernova-releases-first-quarter-2026-financial-results>

**[S15] Sony FY2025 Consolidated Financial Results**

[https://www.sony.com/en/SonyInfo/IR/library/presen/er/pdf/25q4\\_sonypre.pdf](https://www.sony.com/en/SonyInfo/IR/library/presen/er/pdf/25q4_sonypre.pdf)

**[S16] Tokyo Electron FY2026 Consolidated Financial Results**

<https://www.tel.com/ir/irta3a0000006g5-att/fy26q4tanshin-e.pdf>

**[S17] Advantest FY2025 Consolidated Financial Results**

[https://www.advantest.com/document/en/investors/ir-library/result/E\\_FR\\_FY2025\\_FN.pdf](https://www.advantest.com/document/en/investors/ir-library/result/E_FR_FY2025_FN.pdf)

**[S18] MercadoLibre Q1 2026 Financial Results**

<https://www.businesswire.com/news/home/20260430878844/en/MercadoLibre-Inc.-to-Report-First-Quarter-2026-Financial-Results>

**[S19] Micron FY2026 Q3 Prepared Remarks / Results**

<https://investors.micron.com/static-files/631b1a32-5537-46ae-8f40-82e42fc79dfe>

**[S20] SK hynix Q1 2026 Business Results**

<https://news.skhynix.com/q1-2026-business-results/>

**[S21] Samsung Electronics Q2 2026 Earnings Guidance**

<https://news.samsung.com/global/samsung-electronics-announces-earnings-guidance-for-second-quarter-2026>

本レポートは公開情報に基づく分析であり、将来の業績や株価を保証するものではありません。記載内容は作成時点の情報であり、企業業績、規制、為替、金利、地政学リスクなどにより変化します。